

2023年度
(2023年4月～2024年3月)

お客さま本位の業務運営に関する取組状況

投資信託・外貨建保険の比較可能な共通KPI

目次

1 お客さま本位の業務運営に関する取組方針 P2

2 トピックス P3

3 各方針ごとの取組状況(成果指標等) P4

- (1) お客さまの最善の利益の追求 (P 4)
- (2) 利益相反の適切な管理 (P 8)
- (3) 手数料等の明確化 (P 10)
- (4) 重要な情報の分かりやすい提供 (P 11)
- (5) お客さまにふさわしい金融商品・サービスの提供 (P 13)
- (6) 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等 (P 18)

4 金融事業者における投資信託・外貨建保険の比較可能な共通KPI P19

➤ 共通 KPI は、お客さま本位の良質な金融商品やサービスを提供する金融事業者をお客さまが比較し、選択する上で参考となる統一指標です。

- (1) 投資信託の運用損益別顧客比率
- (2) 投資信託の残高上位20銘柄のコスト・リスク・リターン
- (3) 外貨建保険の運用評価別顧客比率
- (4) 外貨建保険の銘柄別コスト・リターン

本資料は、金融庁「顧客本位の業務運営に関する原則」の原則2～7に対応した形で作成しており、各ページにおける各対応部分には【金融庁原則(番号)】を表示しております。

1. お客さま本位の業務運営に関する取組方針

- ・大光銀行は、お客さまのニーズやご意向に沿った資産形成にふさわしい金融商品やサービスの提供にあたり、お客さま本位の業務運営を実践するために、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を策定しております。
- ・この方針に基づき、お客さま本位の業務運営を実践するとともに、取り組みの状況を定期的に検証することで、お客さま本位の業務運営の徹底と改善を目指しております。
- ・また、お客さまに当行の取り組みをご理解いただき、当行とのお取引を安心して行っていただけるよう、取組状況を公表しております。
- ・なお、当行は金融庁が2017年3月に国民の安定的な資産形成に向けて公表した「顧客本位の業務運営に関する原則」を採択しております。

当行の「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」は当行ホームページにて公表しております。

➤ [大光銀行「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」へのリンク](https://www.taikobank.jp/notice/kihon.php)
<https://www.taikobank.jp/notice/kihon.php>

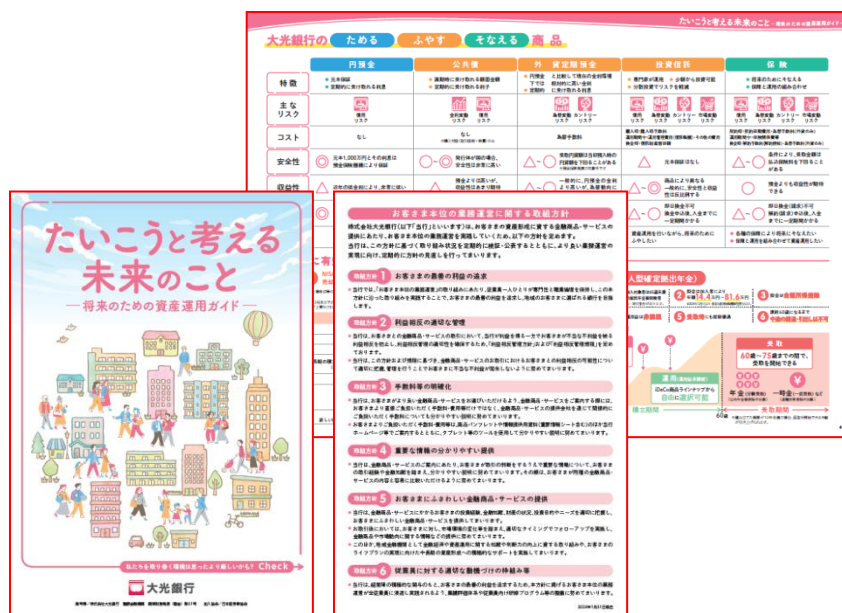
2. トピックス

・お客さま本位の業務運営の実践のために、2023年度に新たに実施した取り組みをご紹介します。

リーフレット「たいこうと考える未来のこと」を作成

お客さまに将来のライフプランをご検討いただく際のご参考資料として、各種商品やサービスを分かりやすく比較、選択していただけるリーフレットを作成しました。

お客さまのニーズや目的に適した各種商品や、当行の「お客さま本位の業務運営」についてご案内しています。



土日の資産運用相談(予約制)の受付開始

平日のご来店が難しいお客さまや、休日に時間を気にせず、将来のライフプランなどのご相談をご希望されるお客さま向けに、新潟県内の6ヶ所にあるローンスクエアにて、お客さまの資産形成・資産運用に関するご相談(予約制)の受付をはじめました。

ご相談には、本部で資産運用等のアドバイスを専門に行う担当者が、お客さま一人ひとりのニーズやライフプランをお聞ききしたうえで最適な商品・サービスをご案内いたします。

ご相談のご予約は、お取引店またはお近くの店舗、ローンスクエアへご連絡ください。

従業員アンケートの実施

お客さま本位の業務運営の更なる実践に向けて、全行員を対象にしたアンケートを実施しました。アンケート結果を行内で共有し、販売担当者の育成や商品およびサービスの改善に活用いたします。

3. 各方針ごとの成果指標(取組状況・成果指標)

- ・2023年度（2023年4月～2024年3月）の取組成果をお知らせします。

お客さまの最善の利益の追求

金融庁原則 2

【取組方針1】お客さまの最善の利益の追求

- ・当行では、従業員一人ひとりが専門性と職業倫理を保持し、当行が目指す、「お客さまの最善の利益の追求」に向けた取り組みがなされるよう、啓発活動と能力向上のための研修を継続的に実施しております。
- ・お客さまの資産運用に関するご相談を主業務とするマネーアドバイザーを営業店に合計67名（2024年3月末）配置し、専門的なアドバイスや商品・サービスのご提案ができる体制を整えております。
- ・また、お客さまへの金融商品やサービスのご案内が、「お客さまの最善の利益の追求」を何よりも優先したものとなるよう、業績評価や人事評価の評価方法の改善に取り組んでおります。

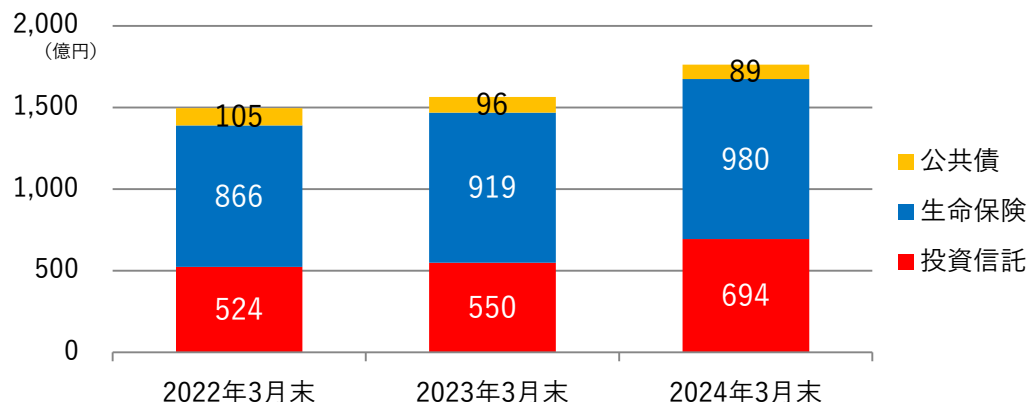
大光銀行が目指す、お客さまの最善の利益の追求

- ・当行は、お客さまが将来に備えながらより豊かで快適に過ごせるよう、お客さまに最適な資産運用をご案内し、資産形成を行っていただくことを「お客さまの最善の利益」と考え、お客さまとの対話を通じ、その実現に向けて追求してまいります。
- ・そのために、地域のお客さまに親しまれる身近なアドバイザーとして、お客さまにご納得いただきながら、「使う・増やす・備える・残す（遺す）」など、お客さまの資産状況やお考えに沿えるよう努めてまいります。
- ・将来に向けた資産形成をご検討されるお客さまには「長期・分散・積立」投資を基本とし、一定の資産を保有され、効率的に資産を増やすことを希望されるお客さまには、投資経験や目的に沿った最適な資産運用サービスを中長期的な視点でご案内いたします。
- ・このほか、万一の場合の保障や介護、相続など、お客さまとご家族の将来への不安やご要望にお応えするための金融商品やサービスもご案内いたします。
- ・また、商品の特性やリスク、ご負担いただく手数料や費用について分かりやすい開示と説明を行うとともに、お取引いただいた後もフォローアップを通じ、お客さまの中長期的な目標の達成に向け寄り添ってまいります。

■「お客さまの最善の利益の追求」への取り組み

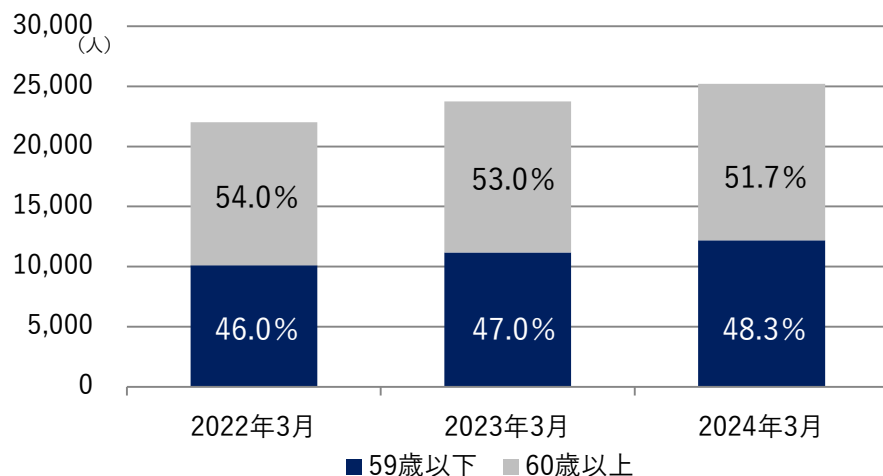
- ・当行では、「お客さまの最善の利益の追求」のため、将来に向けた資産形成をご検討されるお客さまには「長期・分散・積立」投資を基本として投資経験や目的に沿った最適な資産運用サービスを中長期的な視点でご案内しております。
- ・取り組みの結果、2023年度は資産形成層（59歳以下）のお客さまを中心に投資信託をお取引いただくお客さまが増加しました。
- ・この他、中長期的な資産形成を目的とした積立投資信託の販売額が投資信託の販売額全体に占める割合も増加しました。
- ・また、2023年度は、投資信託を保有されているお客さまのうち、積立契約のあるお客さまの収益率が高い結果となりました。

【指標1】 投資信託時価残高、生命保険残高、公共債残高（3期比較）



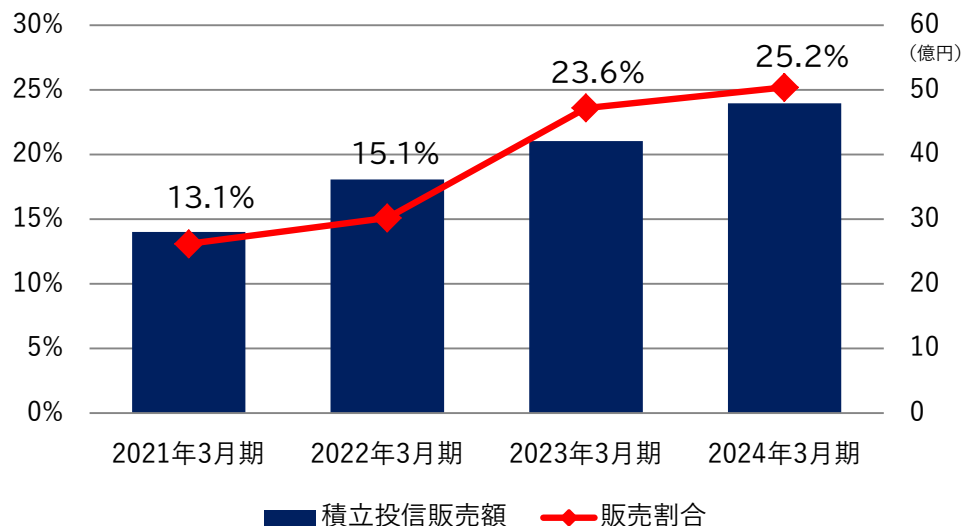
- ・お客さまの資産残高増加を重視して取り組んだ結果、2024年3月末における投資信託時価残高は前年同月比144億円、生命保険残高は同61億円それぞれ増加しました。
- ・公共債の販売額は前年比で増加したものの、解約や償還などにより、残高は同7億円減少しました。

【指標2】 投資信託の顧客数および59歳以下の顧客数、割合



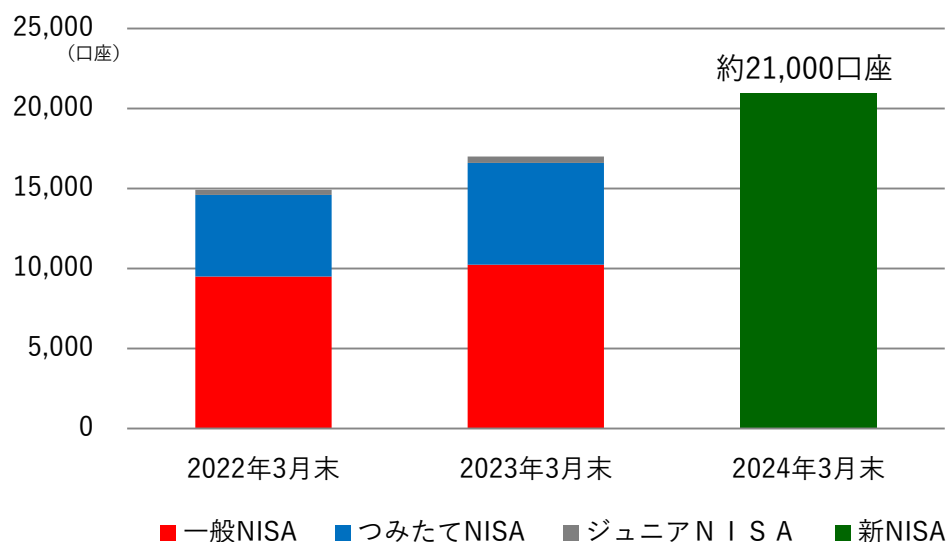
- ・2024年3月末現在、投資信託のお取引をいただいているお客さまは前年同月比で約1,500名増加し、合計約25,200人となりました。
- ・また、NISA（つみたて投資枠）など積立投資信託による資産形成を積極的にご案内した結果、特に資産形成層である59歳以下のお客さまが約1,000名増加し、全体に占める割合も増加しました。

【指標3】 積立投資信託販売額と投信販売額全体に占める割合



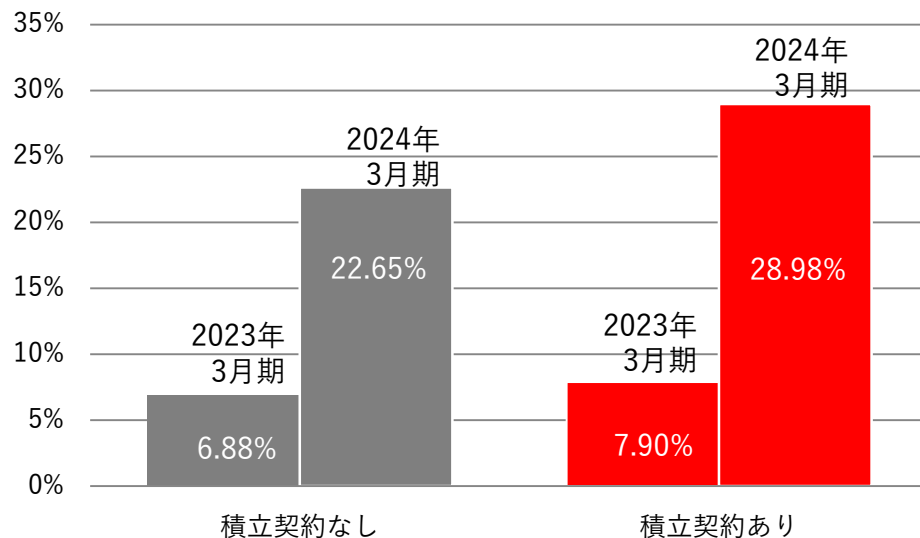
- ・ 当行では、「長期・分散・積立」を基本とする資産形成手段のひとつとして、積立投資信託を積極にご案内しております。
- ・ 2024年3月期における投資信託の販売額に占める積立投資信託販売額の割合は前年比1.6ポイント増加の25.2%となりました。

【指標4】 NISA口座数の推移



- ・ 当行では、お客さまの資産形成の実現に有用なNISA（少額投資非課税制度）を多くのお客さまへご案内しております。
- ・ 2024年1月よりNISA制度が拡充されたことからご案内チラシ等を活用した情報提供に努めています。
- ・ 成長投資枠の利用とともに少額から長期運用が可能な、つみたて投資枠の利用をご案内し、「長期・積立・分散」による資産形成をサポートしております。
- ・ 2024年3月末における、NISA口座は前年同月比で約4,000口座増加し、約21,000口座となりました。

【指標5】 積立投資信託契約の有無による収益の状況



- ・ 2024年3月期は、投資信託のお取引のあるお客さまのうち、積立投資信託のご契約があるお客さまと、ないお客さまとの比較においては、ご契約のあるお客さまの収益が高い結果となりました。
- ・ 積立投資信託契約の有無による、お客さまの収益（評価の平均）の状況は、下記の通りです。

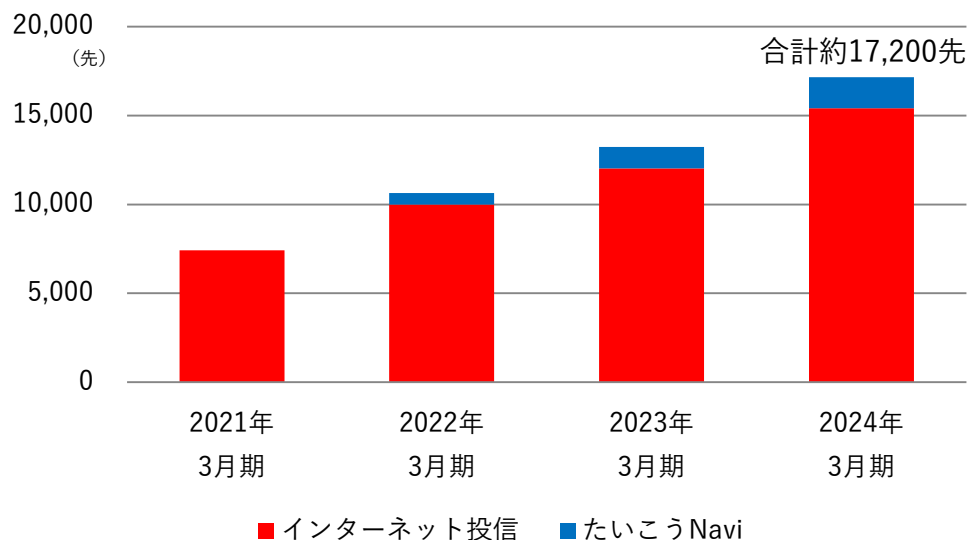
■ 積立契約なし	：	22.65%
■ 積立契約あり	：	28.98%

【収益（評価の平均）】

* 収益（評価の平均） = (運用損益額合計 ÷ 投資金額合計) × 100
で算出

* 運用損益額 = (評価金額 + 受取金額) - 投資金額

【指標6】 非対面チャネルでの取引契約者数



- ・ 当行では、窓口にご来店いただくことなくご利用いただける『インターネット投信』や、自動で分散投資が行えるロボアドバイザーの『たいこうNavi』をご提供しております。
- ・ 2024年3月末のインターネット投信のご契約者数は、約15,500先と3年間で約2倍に増加しました。
- ・ たいこうNaviは、投資経験の少ない方などに、資産形成を始めるきっかけの商品として、ご好評をいただいております。

【取組方針2】 利益相反の適切な管理

- ・お客さまとの金融商品・サービスの取引において、お客さまに不当な不利益が発生しないよう、利益相反管理を定めたマニュアルにもとづき、利益相反の適切な把握や管理に努めております。

* 利益相反：当事者間の行為が、一方の立場では利益になるものの、もう一方の立場では不利益になること。

■利益相反の適切な管理のための取り組み

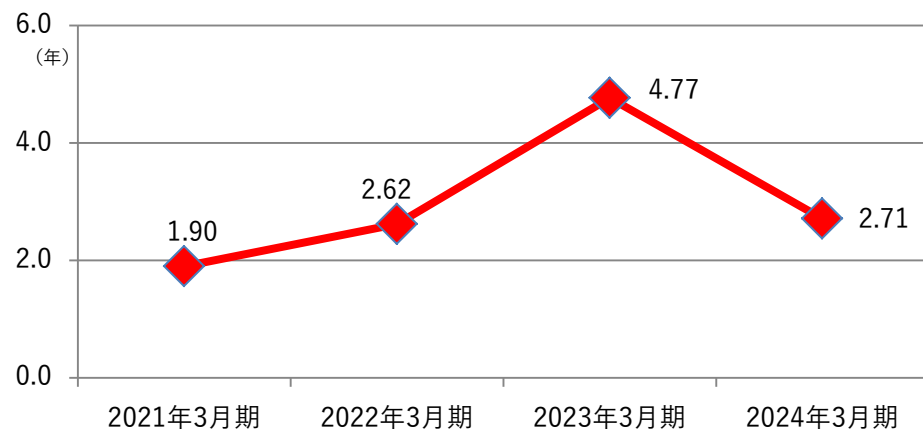
- ・お客さま、または商品の提供会社等から受け取る手数料の大小により、当行の担当者によるお客さまへのご案内が特定の商品に偏っていないかなどをモニタリングを通じて確認しております。
- ・当行の担当者のご案内した商品やサービスが、担当者自身の人事評価や所属する部署の業績評価のために選ばれていないかといったこともモニタリングを通じて確認しております。
- ・モニタリングの結果、2023年度においてもお客さまのニーズやご意向に沿わないご案内や、特定商品への偏重販売は見られませんでした。
- ・当行および当行グループ会社における金融商品の組成はなく、販売はありません。

【指標7】 投資信託の販売額上位10商品

順位	ファンド名	運用会社	投資対象	構成比 (%)	手数料率 (%)
1	<購入・換金手数料なし>ニッセイ日経平均インデックスファンド*	ニッセイアセットマネジメント	国内株式	22.9	0.00
2	インデックスファンドMSCIオール・カンントリー（全世界株式）	日興アセットマネジメント	先進・新興国株式	12.7	2.00
3	次世代米国代表株ファンド「メジャー・リーダー」	三菱UFJアセットマネジメント	先進国株式	7.8	3.00
4	のむらっぴ・ファンド（積極型）	野村アセットマネジメント	バランス	5.1	1.00
5	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド「健次」	三菱UFJアセットマネジメント	先進国株式	4.4	3.00
6	iFreeS&P500インデックス	大和アセットマネジメント	先進国株式	3.6	0.00
7	あおぞら・新グローバル分散ファンド2023-10「ぜんぞう2310」	あおぞら投信	バランス	3.6	2.50
8	フィデリティ・USリート・ファンドB（為替ヘッジなし）	フィデリティ投信	海外リート	3.5	2.50
9	のむらっぴ・ファンド（普通型）	野村アセットマネジメント	バランス	3.0	1.00
10	【つみたて投資枠】つみたて先進国株式	三菱UFJアセットマネジメント	先進国株式	2.7	0.00

〔構成比〕販売額全体に対する該当商品の販売額、〔手数料率〕窓口での対面販売時の販売手数料（税抜き）。手数料が0.00%のものはノーロード商品。

【指標8】 投資信託の平均保有期間の推移



・ 2024年3月期は、基準価格の上昇による値上がり益の確保のための解約などがあり、平均保有期間(*)は2.71年となりました。

* 平均保有期間＝〔(前年度末残高+年度末残高)÷2〕÷(年間の解約額+償還額)

【指標9】 保険の販売額上位10商品

順位	保険商品名	保険会社	種類	構成比(%)	手数料率(%)
1	プレミアジャーニー (円建)	第一フロンティア生命	円 建 定額年金	24.1	0.52
2	ハイブリッドあんしんライフ	T&Dフィナンシャル生命	円 建 変額終身	21.5	2.85
3	ロングドリームGOLD3	日本生命	外貨建 定額終身	8.9	4.35
4	しあわせ、ずっと3	三井住友海上プライマリー生命	外貨建 定額終身	8.3	4.48
5	たのしみグローバルⅢ (円建)	住友生命	円 建 定額年金	5.3	0.53
6	プレミアプレゼント3 (外貨建)	第一フロンティア生命	外貨建 定額終身	4.4	4.12
7	プレミアカレンシー3 (外貨建)	第一フロンティア生命	外貨建 定額年金	4.3	2.46
8	ふるはーとJロードグローバルⅢ	住友生命	外貨建 定額終身	3.1	3.24
9	生涯プレミアムワールド5	T&Dフィナンシャル生命	外貨建 定額終身	2.8	4.04
10	プレミアカレンシー3 (円建)	第一フロンティア生命	円 建 定額年金	2.0	0.39

〔構成比〕販売額全体に対する該当商品の販売額、〔手数料率〕2022年度に当行が保険会社より受け取った初年度販売手数料(税抜き)

【取組方針3】 手数料等の明確化

- ・当行では、お客さまより投資信託や生命保険などの金融商品をお取引いただく際に、各種手数料をご負担いただいております。
- ・このため、お客さまよりご負担いただく手数料について、目論見書や重要情報シート、販売用パンフレットなどの説明用資料を用いて分かりやすい説明を行うよう努めております。
- ・また、類似する商品において、対面と非対面の別やご選択いただく通貨・コースなどの違いでご負担いただく手数料が異なる場合には、それぞれを比較してご検討いただけるよう、分かりやすい説明に努めております。
- ・このほか、当行では、お客さまにご負担いただく手数料以外に、保険商品などの提供会社より販売代理店手数料として手数料を受け取る場合があります。

投資信託ラインナップ

大光銀行 主な取組みファンド一覧		運用：大光銀行運用株式会社		2024年3月31日現在		2023年3月31日現在		2022年3月31日現在		2021年3月31日現在		2020年3月31日現在		2019年3月31日現在		2018年3月31日現在		2017年3月31日現在		2016年3月31日現在		2015年3月31日現在		2014年3月31日現在		2013年3月31日現在		2012年3月31日現在		2011年3月31日現在		2010年3月31日現在		2009年3月31日現在		2008年3月31日現在		2007年3月31日現在		2006年3月31日現在		2005年3月31日現在		2004年3月31日現在		2003年3月31日現在		2002年3月31日現在		2001年3月31日現在		2000年3月31日現在		1999年3月31日現在		1998年3月31日現在		1997年3月31日現在		1996年3月31日現在		1995年3月31日現在		1994年3月31日現在		1993年3月31日現在		1992年3月31日現在		1991年3月31日現在		1990年3月31日現在		1989年3月31日現在		1988年3月31日現在		1987年3月31日現在		1986年3月31日現在		1985年3月31日現在		1984年3月31日現在		1983年3月31日現在		1982年3月31日現在		1981年3月31日現在		1980年3月31日現在		1979年3月31日現在		1978年3月31日現在		1977年3月31日現在		1976年3月31日現在		1975年3月31日現在		1974年3月31日現在		1973年3月31日現在		1972年3月31日現在		1971年3月31日現在		1970年3月31日現在		1969年3月31日現在		1968年3月31日現在		1967年3月31日現在		1966年3月31日現在		1965年3月31日現在		1964年3月31日現在		1963年3月31日現在		1962年3月31日現在		1961年3月31日現在		1960年3月31日現在		1959年3月31日現在		1958年3月31日現在		1957年3月31日現在		1956年3月31日現在		1955年3月31日現在		1954年3月31日現在		1953年3月31日現在		1952年3月31日現在		1951年3月31日現在		1950年3月31日現在		1949年3月31日現在		1948年3月31日現在		1947年3月31日現在		1946年3月31日現在		1945年3月31日現在		1944年3月31日現在		1943年3月31日現在		1942年3月31日現在		1941年3月31日現在		1940年3月31日現在		1939年3月31日現在		1938年3月31日現在		1937年3月31日現在		1936年3月31日現在		1935年3月31日現在		1934年3月31日現在		1933年3月31日現在		1932年3月31日現在		1931年3月31日現在		1930年3月31日現在		1929年3月31日現在		1928年3月31日現在		1927年3月31日現在		1926年3月31日現在		1925年3月31日現在		1924年3月31日現在		1923年3月31日現在		1922年3月31日現在		1921年3月31日現在		1920年3月31日現在		1919年3月31日現在		1918年3月31日現在		1917年3月31日現在		1916年3月31日現在		1915年3月31日現在		1914年3月31日現在		1913年3月31日現在		1912年3月31日現在		1911年3月31日現在		1910年3月31日現在		1909年3月31日現在		1908年3月31日現在		1907年3月31日
------------------	--	---------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	--------------	--	------------

生命保険販売用パンフレット

[illegible]

重要情報シート

[illegible]

3. 費用(本商品の購入または保有には、費用が発生します)

購入時に支払う費用(販売手数料など)	購入金額(購入申込受付日の翌営業日の基準価額×購入口数)に2.20%(税抜き2.00%)の手数料率を乗じた額とします。 ※インターネット投信サービス経由でご購入の場合は別の手数料となる場合があります。
継続的に支払う費用(信託報酬など)	ファンドの日々の純資産総額に対し年率0.4785%(税抜0.435%) 目論見書などの作成・交付および計理等の業務に係る費用(業務委託する場合の委託費用を含みます。)、監査費用、運用において利用する指数の標準使用料などについては、ファンドの日々の純資産総額に対して年率0.1%を乗じた額の信託期間を通じた合計を上限とする額が信託財産から支払われます。
運用成果に応じた費用(成功報酬など)	ありません。

上記以外に生ずる費用を含めて詳細は契約締結前交付書面【交付目論見書】の「ファンドの費用」に記載しています。

【取組方針4】 重要な情報の分かりやすい提供

- ・お客さまへ金融商品やサービスをご案内する際に使用する説明用資料をより分かりやすい内容へと継続的に改善を図るとともに、分かりやすい説明ができるよう、研修等を通じた従業員への教育を行っております。
- ・お客さまへの資産形成のご案内と従業員のコンサルティング能力の向上を目指し、『Wealth Advisor（ウェルスアドバイザー）』および『ライフプランシミュレーション』（対面支援デジタルツール）を導入し、2023年7月より運用を開始しました。



- ・「Wealth Advisor」は当行担当者の営業タブレット端末を用いて、最新のマーケット情報や投資信託の各種情報などをお客さまへご提供するツールです。
- ・タブレット端末を用いてご確認いただくことで、これまで以上に分かりやすい情報の提供が可能となります。
- ・「ライフプランシミュレーション」は、お客さまの将来の希望や目標を実現するために必要な資金を算出し、その資金形成を実現するための具体的な方策等を検討するためのツールです。

■重要な情報の積極的な提供

- ・お客さまに金融商品やサービスをご案内する際は、商品性やリスク・リターン、お取引にかかる費用などの情報のほか、お客さまのニーズやご意向を踏まえたうえのご案内理由など、お客さまの判断に特に重要な影響をおよぼす情報について、重要情報シートなどの説明用資料やツールを用いながら提供してまいります。

■パッケージ化商品をご案内する際の情報提供の実施

- ・当行では2024年3月末現在、パッケージ化商品の取り扱いはありません。

重要情報シート（金融事業者編）

金融商品取引にあたってのご案内（重要情報シート）

当行における金融商品・サービスの販売・提供時に係る重要情報を提供いたします。

1. 当行の基本情報（各項目は必ずご案内ください。金融商品の提供をする場合は）

銀行名	株式会社 大光銀行
登録番号	登録金融機関 関東財務局長（第41号）
本店住所	日本橋区本町1-1-1
当行の概要を記したURL	https://www.taikobank.jp/

2. 取扱商品（各項目は必ずご案内ください。金融商品の提供をする場合は）

預金（定期性あり）	☐	預金（定期性あり）	☐
貸付（貸付性あり）	☐	貸付（貸付性あり）	☐
信託（信託性あり）	☐	信託（信託性あり）	☐
その他の商品（信託性あり）	☐	その他の商品（信託性あり）	☐

3. 商品に関するウェブサイトや資料の提供（各項目は必ずご案内ください。金融商品の提供をする場合は）

お客さまのウェブサイトや資料などお客さま自身の投資家向け、社会情勢、市場などの情報提供が可能です。お客さまのウェブサイトや資料などお客さま自身の投資家向け、社会情勢、市場などの情報提供が可能です。お客さまのウェブサイトや資料などお客さま自身の投資家向け、社会情勢、市場などの情報提供が可能です。

4. 営業・相談窓口（各項目は必ずご案内ください。金融商品の提供をする場合は）

窓口担当の責任者	0120-30-4440
窓口担当の責任者の連絡先	0120-30-4440
一般相談窓口（お客さまの相談先）	03-5286-2548
一般相談窓口（お客さまの相談先）	03-5286-2548
一般相談窓口（お客さまの相談先）	03-5286-2548
一般相談窓口（お客さまの相談先）	03-5286-2548

【お問い合わせ先】

・お問い合わせ先（窓口・受付時間）の9:00～17:00

・お問い合わせ先（窓口・受付時間）の9:00～17:00

■お客さまの投資経験や知識、理解度等に応じた説明の実施

- ・お客さまに金融商品やサービスをご案内する際は、『資産運用ご相談シート』を用いて、お客さまの金融商品の保有経験のほか、投資運用に関する知識やお考えをお伺いしたうえで、ご案内しております。
- ・お客さまへの情報提供や金融商品・サービスの内容などに関する説明にあたっては、重要情報シートなどの説明資料を用いて、お客さまの理解度に合わせた説明を行うとともに、ご理解いただけたかどうかの確認も行っております。

■複雑またはリスクの高い金融商品・サービスをご案内する際の情報提供

- ・複雑またはリスクの高い金融商品・サービスをご案内する際は、同様の商品と比較するなど、重要情報シートなどの説明用資料を用いて、お客さまの十分な理解促進と注意喚起に努め、より丁寧な説明を行っております。

■重要な情報をしっかりとお伝えするための取り組み

- ・重要な情報を確実にお客さまにお伝えし、ご理解いただけるよう、使用する説明用資料の改善に努めております。
- ・また、特に重要な情報をお伝えする際は、お客さまにしっかりとご理解いただけたかどうか確認するとともに、ご契約時より一定期間が経過した後でも、説明時の状況が分かるよう努めております。

<参考> 説明用資料等

たいこうと考える 未来のこと
—将来のための資産運用ガイド—

大東銀行の ためも ふやす 考ええる 商品

特徴	月給型	定額型	外貨	投資信託	保険
主なリスク	元金保証あり	元金保証あり	元金保証あり	元金保証あり	元金保証あり
コスト	なし	なし	なし	なし	なし
安全性	高	高	高	高	高
収益性	低	低	低	低	低
流動性	高	高	高	高	高
ニーズ	元金保証が必要な方	元金保証が必要な方	元金保証が必要な方	元金保証が必要な方	元金保証が必要な方

資産形成に有効な制度

制度	特徴	メリット	デメリット
NISA	100万円まで	元金保証あり	元金保証あり
iDeCo	100万円まで	元金保証あり	元金保証あり
その他	100万円まで	元金保証あり	元金保証あり

たいこうと考える 未来のこと

投資信託の魅力や仕組み

投資信託の仕組みがわかる仕組み

プレミアムジャーニー

商品概要

生命保険の仕組み

投資信託（一例）

生命保険（一例）

【取組方針5】お客さまにふさわしい金融商品・サービスの提供

- ・中長期的かつ安定的な資産形成に資する商品をお客さまにご提供するという考え方のもと、お客さま一人ひとりの資産形成・資産運用ニーズや金融知識、ご資産の状況、ライフプランなどを踏まえ、最適なご案内ができるように幅広いラインアップの整備に努めています。
- ・新たに取り扱う金融商品やサービスの選定にあたっては、国内外の市場環境やお客さまのニーズ等を考慮するとともに、投資信託運用会社や保険会社等から情報を収集し、運用状況や費用、外部機関の評価などを参考とし、合理的な根拠や適合性の事前検証を本部の営業推進部門およびリスク統括部門にて実施したうえで決定しております。
- ・また、選定後もお客さまに最適な商品のご案内ができていくか、取り扱い商品の運用状況や販売状況、投資信託運用会社や保険会社の支援体制などの検証を行っております。

【指標10】商品ラインアップ(投資信託・保険)

投資信託

投資対象	商品数	シェア
株式	54	56.3%
国内株式	12	12.5%
先進国株式	7	7.3%
新興国株式	4	4.2%
グローバル株式	31	32.3%
債券	17	17.7%
国内債券	2	2.1%
先進国債券	4	4.2%
新興国債券	2	2.1%
グローバル債券	6	6.3%
ハイイールド債券	3	3.1%
リート	8	8.3%
国内リート	2	2.1%
海外リート	2	2.1%
米国リート	2	2.1%
グローバルリート	2	2.1%
バランス	14	14.6%
国内バランス	2	2.1%
海外バランス	12	12.5%
その他	3	3.1%
合 計	96	100.0%
内 ノーロード	19	19.8%

保険

商品種類	商品数	シェア
一時払い	14	48.3%
円 建		
変 額 年 金	0	0.0%
定 額 年 金	5	17.2%
変 額 終 身	1	3.4%
定 額 終 身	7	24.1%
介 護 保 険	1	3.4%
外貨建	15	51.7%
変 額 年 金	0	0.0%
定 額 年 金	6	20.7%
変 額 終 身	0	0.0%
定 額 終 身	8	27.6%
介 護 保 険	1	3.4%
合 計	29	100.0%
平準払	23	95.8%
円 建		
終 身 保 険	2	8.3%
定 期 保 険	5	20.8%
医 療 ・ が ん 保 険	8	33.3%
収入保障・就業不能	2	8.3%
年金・養老保険	2	8.3%
変 額 保 険	2	8.3%
学 資 保 険	1	4.2%
介 護 ・ 認 知 症	1	4.2%
外貨建	1	4.2%
年 金 保 険	1	4.2%
終 身 保 険	0	0.0%
合 計	24	100.0%
手数料開示商品	28	52.8%

- ・お客さまにふさわしい金融商品やサービスをご案内できるよう、2023年度は、コンサルティング力の向上を目的とした従業員向け研修会（オンライン開催含む）を10回実施し、延べ860名以上の従業員が受講しました。
- ・お客さまのニーズを把握したり、分かりやすい説明を行うことができるかを競う、ロールプレイング大会を実施しました。
- ・このほか、自己啓発や部店での勉強会に活用できるオンライン動画コンテンツを約80本配信し、オンデマンドでの提案・販売能力向上の取り組みを実施しました。

【指標11】 金融商品販売に関する従業員向け研修会の開催回数

研修内容	開催回数
金融商品販売研修（基礎レベル）	4 回
金融商品販売研修（応用レベル）	3 回
取扱商品研修	3 回
合 計	10 回

■お客さまのライフプランやライフステージにふさわしい、中長期的な視点でのご案内の実施

- ・お客さまのライフプランやライフステージに応じた資産形成、資産運用ニーズにふさわしい金融商品・サービスを中長期的な視点でご案内しております。
- ・お取引いただいた後も、お客さまへの継続的なフォローアップを実施し、当初のご意向や保有される資産の状況、投資方針等に変化が無いかの確認に努めております。

■パッケージ化商品をご案内する際の説明の実施

- ・当行では2024年3月末現在、パッケージ化商品の取り扱いはありません。
- ・パッケージ化商品を取り扱う場合、お客さまにご案内する際に、重要情報シート等の説明用資料を用いて、パッケージ化商品であることを説明します。また個別商品として当行での取り扱いの有無を示し、個別商品の取り扱いがある場合にはそれぞれの商品を比較した説明を行います。

■金融商品の組成について

- ・当行および当行グループ会社では、金融商品の組成は行っておりません。

■取引の適切性の確保への取り組み

- ・お客さまに金融商品やサービスのご案内を行う場合は、取引の適切性やお客さまの理解度などを確認し、特にご高齢のお客さまへのご案内においては、ご家族等に同席いただくなどして、ご理解を得ながら慎重に進めております。
- ・当行では、運用商品を保有されているお客さまに随時、フォローアップを実施しております。
- ・特に、80歳以上で投資信託を保有するお客さまにはご意向や保有される資産の状況、投資方針等に変化が無いか確認を行うため、販売担当者ではなく、役席者（営業部門の責任者・内部管理部門の責任者）による年2回のアフターフォローを実施しております。

〔ご高齢のお客さまとのお取引における対応等〕

- 当行ではご高齢のお客さまを生命保険は「70歳以上」、投資信託は「75歳以上」と定めております。
- 「80歳以上」のお客さまに商品やサービスの提供を行う場合は、即日のご契約を原則禁止しているほか、ご家族のご同席をいただくなど、より慎重に対応しております。

〔ご高齢のお客さまへ商品・サービスをご提供する際の当行のルール〕

- 複数日にわたる面談の実施（即日契約の原則禁止）
- ご契約の前に、販売担当者以外の役席者（営業部門の責任者・内部管理部門の責任者）が、お客さまの健康状態・投資経験・投資意向・理解力などを把握したうえで、ご意向に沿った提案となっているかを確認（役席者による事前承認）
- 原則として、法定相続人にご同席いただき、説明と確認を実施
- ご契約後3営業日以内を目途に、ご契約がお客さまのご意向に沿ったものかや、今後の送付物等についての説明を役席者がお客さまへご連絡して確認
- 上記について、各営業店および本部によるモニタリング（チェック）を実施

【指標12】 アフターフォローの実施状況

**アフターフォローを実施した
投資信託を保有する80歳以上のお客さま数**

2, 979 先

（2023年度に実施した延べ先数）

■多様化するニーズへの対応

- ・急速に進む高齢化のなかで、ご高齢のお客さまのライフスタイルに配慮した相続や信託等のサポートについて、信託銀行や専門機関と連携して取り組んでおります。

【指標13】 相続・資産承継に関するサービスの取扱状況

相続や信託等のサービスの取次状況

123 件

(2023年度に信託銀行や専門機関のサービスをご案内した件数)

- ・金融教育への取り組みや各種セミナー等の開催を通じて、金融知識の向上やお客さまの中長期の資産形成とライフプランの実現を積極的にサポートするとともに、個人投資家のすそ野拡大にも努めております。
- ・主に資産形成層のお客さまに向けて、「貯蓄から投資」への理解促進やライフプランの実現サポートを目的としたセミナーを実施しており、2023年度は、お取引先事業所の従業員様を対象に、NISAやiDeCo（個人型確定拠出年金）などに関する職域セミナーを計107回開催しました。

【指標14】 お客さま向けセミナーの実施状況

職域セミナーの開催回数

107 回

- ・窓口にご来店いただくことなく、パソコンやスマートフォンから投資信託の売買や運用損益の照会などの取引ができる『たいこうインターネット投信』や、世界への分散投資を全自動で行えるロボアドバイザー『たいこうNavi』など、非対面チャネルにおけるサービス拡充によりお客さまの利便性向上を図っております。
- ・2023年4月『たいこうNavi』は、NISAに対応した「おまかせNISA」機能を追加しました。



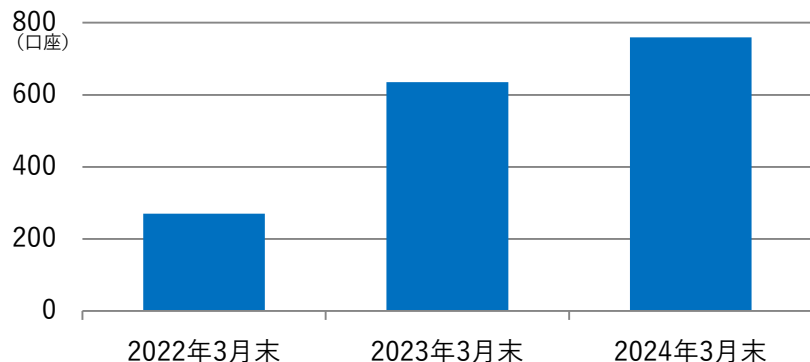
たいこうインターネット投信



たいこうNavi

- ・当行は、2021年5月よりSBIマネープラザ株式会社とともに、大光銀行SBIマネープラザ（共同店舗）を開設しております。
- ・マネープラザでは、お客さまの多様化・高度化する資産形成や資産運用のニーズにワンストップで対応し、当行では取り扱いのない商品を中心に、株式会社SBI証券の豊富な商品ラインアップをご案内しております。

【指標15】 大光銀行SBIマネープラザ口座数の推移



【取組方針6】 従業員に対する適切な動機づけの枠組み等

- ・お客さま本位の業務運営のさらなる浸透と実践のため、お客さま本位の業務運営への取り組みを、従業員各人の人事評価項目のひとつにしており、お客さま本位の業務運営の理解や実践に注力する動機づけとしております。
- ・また、お客さまの資産残高を営業店の業績評価項目に含めることで、お客さまの中長期的な資産形成を優先してご案内する動機づけとなっております。

■従業員の能力向上の取り組みの実施

- ・従業員のコンサルティング能力の向上と取扱商品の理解促進を支援する指導・育成プログラムの実施 や公的資格取得へのサポートを行っており、公的資格の取得は人事評価にも反映させております。
- ・当行ではファイナンシャル・プランニング技能検定2級資格の取得を全従業員に推奨するとともに、上位資格の取得支援のために、受験対策講座受講料や試験受験料の補助を実施しております。
- ・2023年度は、延べ37名がFP資格を取得し、2023年度末におけるFP資格（FP1級、CFP®、FP2級、AFP）の資格保有者数は733名となりました。

【指標16】 FP資格の保有者数および新規取得状況

FP資格保有者数	うち、FP1級/CFP®資格保有者数
733 名	36 名

2022年度資格取得者数

37 名

【指標17】 営業部門に従事する者のFP資格保有状況

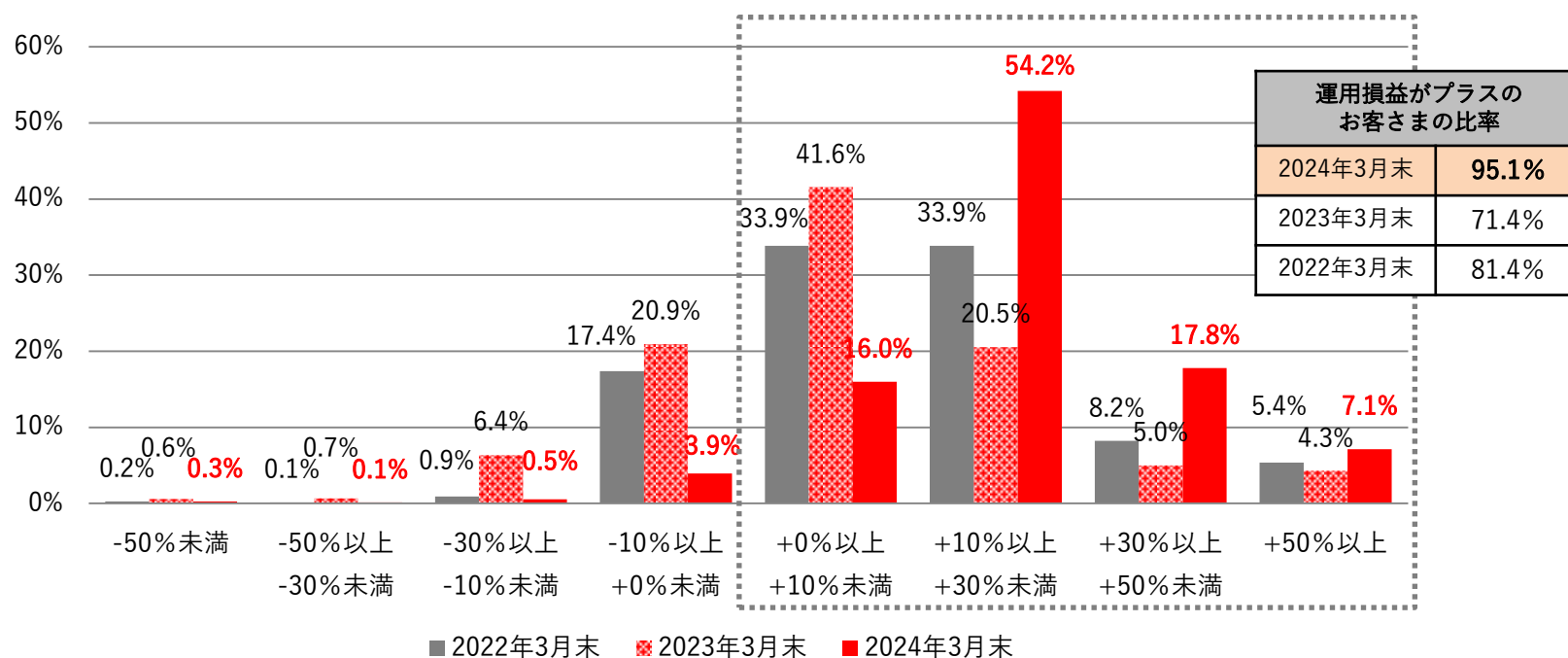
営業部門に従事する者のFP資格保有者の割合

80.1 %

4. 金融事業者における投資信託・外貨建保険の比較可能な共通KPI

【共通KPI】 投資信託の運用損益別顧客比率

- 投資信託を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有投資信託にかかるご購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標です。
- お客さまが保有されている投資信託について、ご購入時よりどのくらいのリターンが生じているかを示しています。
- ・2024年3月末において、投資信託を保有されているお客さまのうち、95.1%のお客さまの運用損益がプラスでした。（解約済みの投資信託の損益は含んでおりません。）



* 口座数: 2024年3月末26,113口座、2023年3月末23,931口座、2022年3月末22,100口座

【共通KPI】 投資信託の残高上位20銘柄のコスト・リスク・リターン

➤ 設定後5年以上の投資信託の預り残高上位20銘柄について、銘柄ごとの預り残高加重平均のコスト（当行販売手数料率（税込）の1/5と信託報酬率（税込）の合計値）とリターン（過去5年間のトータルリターン（年率換算））の関係、リスク（過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算））とリターンの関係を示した指標です。

- ・ 2024年3月末における投資信託の残高上位20銘柄のコスト・リスク・リターンは下記の通りです。
- ・ 残高加重平均のコストは1.74%、リスクは17.42%、リターンは14.65%でした。

	ファンド名	コスト	リスク	リターン
1	グローバルAIファンド	2.59%	27.67%	22.74%
2	のむラップ・ファンド（普通型）	1.57%	9.29%	8.36%
3	インデックスファンド225	1.01%	17.02%	15.33%
4	フィデリティ・USリート・ファンドB（為替ヘッジなし）	2.09%	18.82%	10.56%
5	ハリス世界株ファンド(毎月決算型)	2.70%	22.76%	15.29%
6	のむラップ・ファンド（積極型）	1.74%	12.98%	12.68%
7	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）	2.15%	21.46%	3.68%
8	ニッセイSDGsグローバルセレクトファンド（資産成長型・為替ヘッジなし）	2.24%	17.43%	15.41%
9	つみたて先進国株式	0.22%	17.18%	19.81%
10	三菱UFJマコーリックグローバルインフラ債券ファンド 為替ヘッジなし(毎月決算型)	1.76%	8.87%	6.03%
11	つみたて日本株式（日経平均）	0.20%	17.02%	15.75%
12	次世代米国代表株ファンド「メジャー・リーダー」	2.26%	18.07%	18.78%
13	グローバル・ヘルスケア&バイオ・ファンド「健次」	3.08%	14.82%	13.85%
14	ニッセイ宇宙関連グローバル株式ファンド（資産成長型・為替ヘッジなし）	2.56%	18.78%	18.75%
15	iFreeS&P500インデックス	0.20%	17.20%	22.05%
16	米国株式配当貴族（年4回決算型）	0.99%	16.97%	17.54%
17	ロボット・テクノロジー関連株ファンド-ロボット	2.48%	22.23%	18.63%
18	リスク抑制世界8資産バランスファンド	0.98%	3.65%	-0.21%
19	<購入・換金手数料なし>ニッセイ外国株式インデックスファンド	0.10%	17.18%	19.91%
20	グローバル自動運転関連株式ファンド(為替ヘッジなし)	2.56%	22.11%	21.44%
加重平均		1.74%	17.42%	14.65%

■コスト・リターン

➤投資信託の残高上位20商品について、商品ごとのコストとリターンの実績を示しています。

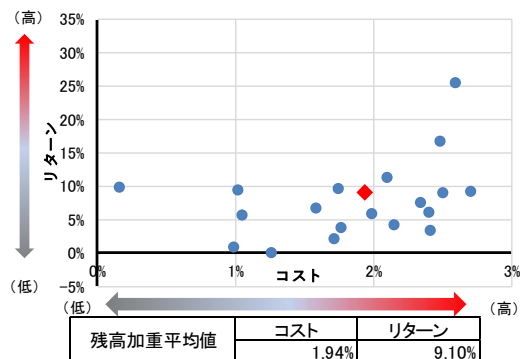
■リスク・リターン

➤投資信託の残高上位20商品について、商品ごとのリスクとリターンの実績を示しています。

【2022年3月末】

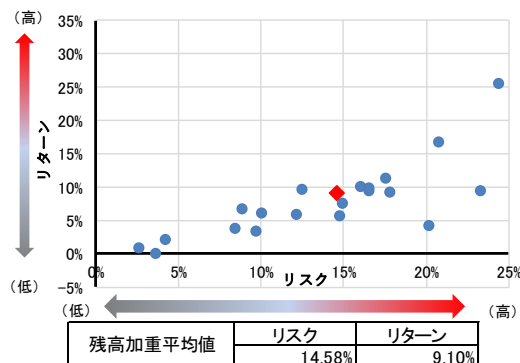
■コスト・リターン

(◆：残高加重平均値)

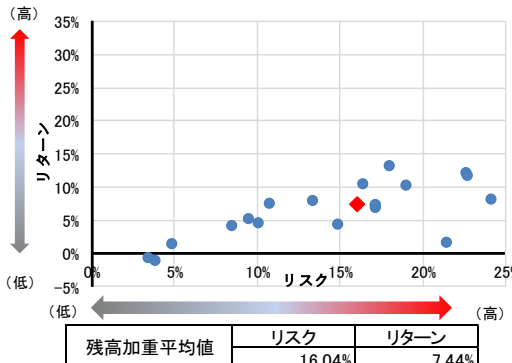
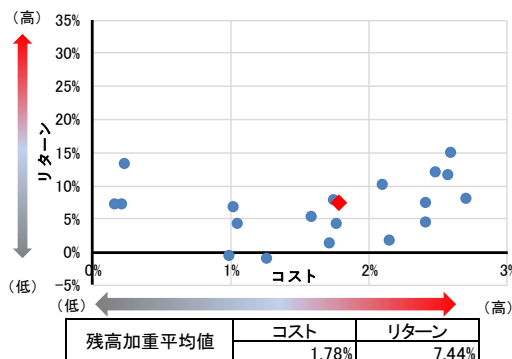


■リスク・リターン

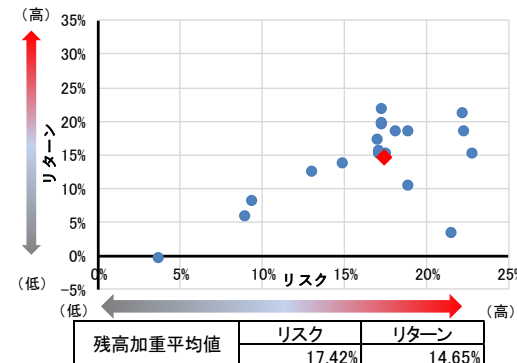
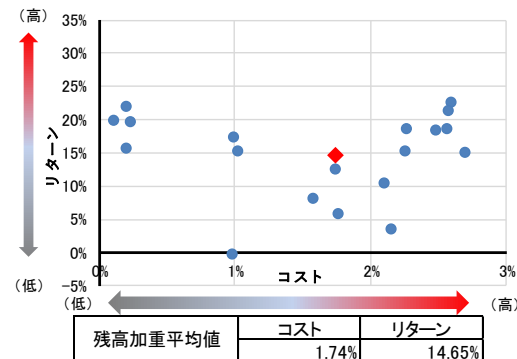
(◆：残高加重平均値)



【2023年3月末】



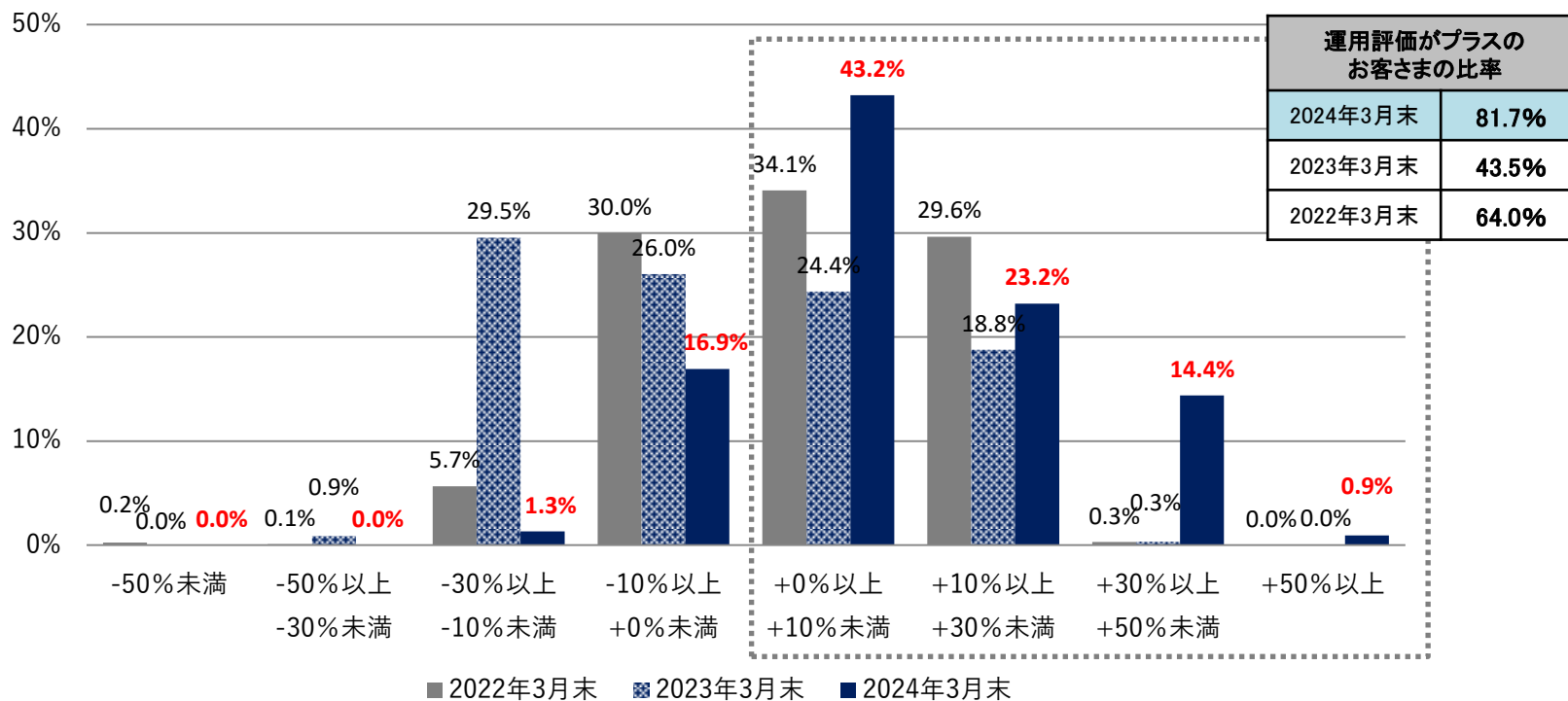
【2024年3月末】



【共通KPI】 外貨建保険の運用評価別顧客比率

- 外貨建保険を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有契約にかかるご購入時以降のリターンを算出し、リターン別にお客さまの比率を示した指標です。
- お客さまが保有されている外貨建保険について、リターンがどのように生じているかを示しています。

- ・2024年3月末において、外貨建保険を保有されているお客さまのうち、81.7%のお客さまの運用損益がプラスでした。（解約済みの外貨建保険の損益は含んでおりません。）



* 契約数：2024年3月末4,168契約、2023年3月末4,352契約、2022年3月末3,634契約

【共通KPI】 外貨建保険の銘柄別コスト・リターン

- 運用期間5年以上の外貨建保険商品の残高上位20商品について、商品ごとに一時払い保険料加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。
 - 商品のコストに比べ、お客さまにどのようなリターン実績の商品を提供しているかを示しています。
- ・2024年3月末において当行で取り扱う外貨建保険の残高上位20商品のコスト・リターンは下記の通りです。

	商品名	コスト	リターン
1	やさしさ、つなぐ	0.56%	0.37%
2	プレミアレシーブ（外貨建）	0.79%	3.72%
3	プレミアプレゼント	0.87%	3.81%
4	My年金外貨	0.43%	6.24%
5	しあわせ、ずっと	0.92%	1.61%
6	夢のプレゼント	0.12%	6.28%
7	ロングドリームGOLD	0.12%	1.61%
8	ロングドリームGOLD2	0.21%	5.32%
9	ふるはーとJロードグローバル	0.80%	5.05%
10	ロングドリームプラス	0.04%	-0.26%
11	プレミアストーリー2	0.84%	3.18%
12	デュアルドリーム	0.25%	1.53%
13	あしたの、よろこび	1.28%	3.75%
14	アドバンテージ・セレクトPG	0.54%	3.53%
15	プレミアジャンプ3・年金（外貨建）	1.28%	0.93%
16	たのしみグローバル（指数）	0.76%	7.46%
17	プレミアジャンプ	0.83%	1.10%
18	プレミアジャンプ2・年金（外貨建）	0.97%	2.22%
19	生涯プレミアムワールド4	0.73%	3.08%
20	スリースターズプラスW	0.43%	0.39%
加重平均		0.56%	3.25%

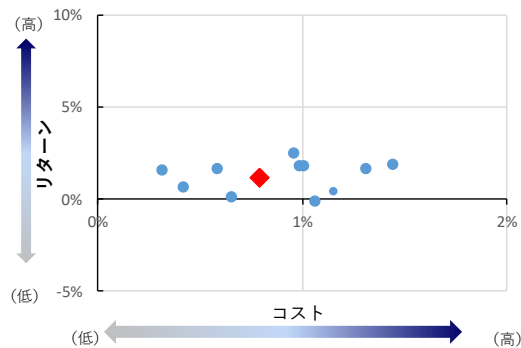
コスト: 各契約の新規契約手数料率と継続手数料率の合計を契約期間(経過月数)で年率換算したもの。

リターン: 各契約の契約時における一時払い保険料に対する、基準日時点の解約返戻金と基準日までの既支払金額の増加率を年率換算したもの。

【2022年3月末】

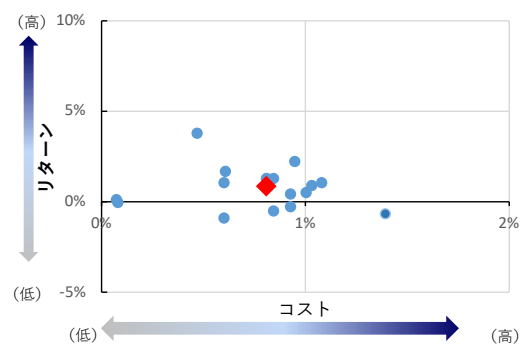
■コスト・リターン

(◆：残高加重平均値)



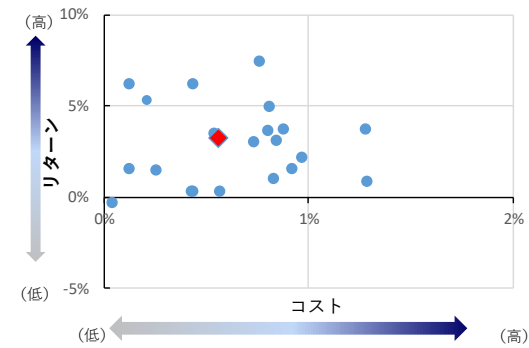
残高加重平均値	コスト	リターン
	0.79%	1.15%

【2023年3月末】



残高加重平均値	コスト	リターン
	0.81%	0.83%

【2024年3月末】



残高加重平均値	コスト	リターン
	0.56%	3.25%